

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 19 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2011 年 6 月 20 日 (月) 13:30~17:00
2. 場 所 原子力安全基盤機構 本館 9 階 9F 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 文能 (幹事), 石井, 矢野, 下家, 皆川,
佐名木 (猿渡代理), 小武守 (田村代理), 西山, 萬年, 利沢, 今村,
三山, 成瀬, 新井, 松浦, 青山, 望月, 遊佐 (20 名)
(欠席委員) 大木, 橘高, 中野 (3 名)
(常時参加者) 川内, 鈴木, 中村, 山口, 中川
(傍聴者) 平田, 小野, 副島
(事務局) 不在

4. 配布資料

資料P14SC-19-1	第18回PLM分科会議事録 (案)
P14SC-19-2	人事について (案)
P14SC-19-3	PLM実施基準2011年版 (追補2) の公衆審査結果
P14SC-19-4	PLM実施基準2008年版英訳のコメント集約表
P14SC-19-5-1	PLM実施基準本格改定の課題整理表
P14SC-19-5-2	照射誘起型応力腐食割れに関する改定について (案)
P14SC-19-6-1	経年劣化メカニズムまとめ表の改定方針 (案)
P14SC-19-6-2	経年劣化メカニズムまとめ表改定案 (ポンプの例)
P14SC-19-6-3	経年劣化メカニズムまとめ表の改定方法の変更案
P14SC-19-7	NRC GALLレポートRevision2の概要

参考資料

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| P14SC-19-参考-1 | JEAC4201のエンドース文書 (NISA-167a-11-1) |
| P14SC-19-参考-2 | PLM実施基準本格改定の課題-要望事項 (P14SC-18-5-7) |
| P14SC-19-参考-3 | 高経年化技術評価の課題と今後の取り組み (保全学別刷) |

5. 議事

会議に先立ち, 出席委員は代理を含めて 20 名 (うち 4 名は遅れて出席) で, 定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-19-1)

文能幹事より, 第 18 回 PLM 分科会議事録 (案) が紹介され, 出席者の川内氏を皆川委員の代理ではなく, 常時参加者とする事で, 承認された。

(2) 人事 (P14SC-19-2)

- ・ 常時参加登録の解除

鈴木主査より、北海道電力の津野氏の常時参加登録の解除が報告された。

- ・ 常時参加登録の承認

鈴木主査より、北海道電力の本田氏から常時参加登録の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

(3) PLM 実施基準 2011 年版 (追補 2) の公衆審査結果 (P14SC-19-3)

文能幹事より、公衆審査で意見がなく、7月7日の標準委員会で制定される予定であることが報告された。

(4) PLM 実施基準 2008 年版英訳のコメント対応 (P14SC-19-4)

文能幹事より、第 18 回分科会以降の分科会、専門部会及び標準委員会のコメント対応案が説明され、了承された。また、英訳時の困難な点として、以下の修正で苦労したことを、標準委員会で紹介することになった。

- ・ 複数の英訳者間のキーワード不統一の修正。
- ・ 命令形から shall を使用した文章への修正。

(5) PLM 実施基準本格改定の課題整理及び今後の対応案 (P14SC-19-5-1,2, 参考-1,2)

2012 年から 2013 年の本格改定に向け、課題を抽出中であるが、前回出された課題について、文能幹事及び各担当委員より、今後の対応案が説明され、その方向で規格案を準備することが了承された。また、以下の意見が了承された。

- ・ 引用規格最新版の使用は、個別にそれぞれ審議していく。
- ・ 資料 P14SC-19-5-1 の No.4 の C.1.3.2.5 は、C.1.3.2.4 の間違い。
- ・ フレッシング疲労の参考文献について、新知見の有無を確認し、データの使用条件を明確にする。
- ・ JEAC4201 のエンドース時の条件を PLM 実施基準の本文で規定することは、日本電気協会の規格策定を否定することになるため、解説に技術評価で条件が付いている事実を記載することとする。
- ・ 熱時効の評価対象抽出フローの見直しは、まず、フローの各項目の明確化を図る。さらに、これまでの評価データを整理するなどして、規格の充実を図る。

なお、コンクリート及び耐震まとめ表の具体案、JEAC4209 との調整事項は次回審議することになった。

(6) PLM 実施基準 2012 年版 (追補 3) の進め方 (P14SC-19-6-1,2,3)

文能幹事より、PLM 実施基準 2012 年版（追補 3）の進め方（P14SC-19-6-1）が説明され、了承された。また、追補策定方法の変更（P14SC-19-6-3）については、次回審議することになった。

(7) NRC GALL レポート Revision2 の概要（P14SC-19-7）

矢野委員より、NRC GALL レポート Revision2 の概要が紹介され、以下の意見が了承された。

- ・ コンクリートのアクセス可否により区別されている件については、高経年化技術評価対象の代表性の考え方等の確認が必要。

(8) その他

- ・ 国外の高経年化関連の話題や、福島事故の高経年化対策上の問題点などがあれば、紹介することになった。

6. 今後のスケジュール等

次回分科会は、8月22日（月）13:30からの予定となった。

（場所：原子力安全基盤機構 本館 4階 4C 会議室）

以 上